

作新学院大学大学院心理学研究科附属臨床心理センター研究紀要規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、作新学院大学大学院心理学研究科附属臨床心理センター規程第 3 条(6)に基づき、「作新学院大学大学院心理学研究科臨床心理センター研究紀要」(以下「紀要」という。)の発行に関して、必要な事項を定めるものとする。

(編集委員)

第 2 条 心理学研究科長は、紀要の編集にあたり、心理学研究科臨床心理学専攻の専任教員の中から編集委員を 1 名選出し、心理学研究科委員会の議を経て委嘱する。

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。

(発行)

第 4 条 紀要の発行は、原則として年 1 回、9 月に発行する。

(募集期限)

第 5 条 紀要の募集期限は、毎年 6 月末日とする。

(投稿資格)

第 6 条 紀要へ投稿できる者は、原則として次のとおりとする。

- (1)心理学研究科臨床心理学専攻を担当する専任教員
- (2)心理学研究科臨床心理学専攻を担当する非常勤講師
- (3)心理学研究科臨床心理学専攻を担当した本学名誉教授
- (4)作新学院大学臨床心理センターの研究員
- (5)心理学研究科臨床心理学専攻の修了生
- (6)心理学研究科臨床心理学専攻を担当する専任教員の推薦のある者

(原稿の種類)

第 7 条 紀要に投稿できる原稿は、次のとおりとする。

- (1)学術論文
- (2)事例報告

(投稿編数)

第 8 条 第 1 著者として投稿できる編数は、原則として第 7 条(1)、(2)のそれぞれについて 1 編とする。

(倫理的配慮)

第 9 条 投稿者は、原稿の投稿に際し、個人情報保護等の倫理的な配慮をしなければならない。

(原稿の作成)

第 10 条 原稿作成上の留意事項は、次のとおりとする。

- (1)紀要の原稿の記述に用いる言語は、日本語、英語を標準とする。
- (2)紀要の頁数は刷り上がり頁数で、論文 6~8 頁、事例報告 4~6 頁を目安とする。

(原稿の受理)

第 11 条 原稿は未発表の学術論文等に限る。この原稿は本規程に従っており、直ちに印刷できる状態になっている場合に限り、受理する。

(校正)

第 12 条 校正は、著者校正とし、校正期限を厳守し、校正時に大幅な訂正を行わないこととする。

(著作権)

第 13 条 投稿された論文等の著作権は、作新学院大学に帰属するものとする。ただし、著者が教育・研究に利用する場合は、再利用を妨げない。

(公開)

第 14 条 掲載された論文は、心理学研究科委員会の議を経た上で、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部学術情報リポジトリ等を通じてコンピュータ・ネットワーク上に 公開する。

(事務)

第 15 条 この規程に関する事務は、クリニック事務および図書情報課にて行う。

(規程の改廃)

第 16 条 この規程の改廃は、心理学研究科委員会の議を経て、心理学研究科長がこれを行う。

(補足)

第 17 条 この規程に定めるもののほか、紀要の発行に必要な事項は、別に定める。

附 則 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。